

景観サポーター体験講習

奈良県風致景観課からの要請を受けて、9月19日(木)に、受講生に「景観づくり体験活動」実施と意見交換などを行いました。参加者は受講生13名と県職員の方でした。

快晴の下、オリエンテーション後、9時半から第5地区まで歩いて移動。ここでの体験実習は、2班に分かれての竹の間伐と雑木の伐採です。当会・里山Gメンバーが夫々先生となって慣れない受講生の皆さんに鋸の使い方・伐採・整理などを指導しました。暑さと熱血指導のせいで、皆さん汗びっしょり。心地よい疲れ(?)を体験されたようです(若干、お疲れの方も見受けられましたが…)



昼食後は、緑陰広場で意見交換。藤田会長からならやまの現況説明の後、川井・古川両氏からこの会立ち上げから現在までの苦労話や里山活動にける想いなどを熱く話していただきました。「街づくり活動」をしたいという希望の多い受講生の皆さんでしたが、熱心に聞き入っておられ、その後の質疑応答も活発。時間がかかりオーバーしましたので、最後の里山視察はコースを短縮して行いました。ナラ枯れ現象や間伐萌芽実験、あるいはニホンバラタナゴなどにもかなり興味を持っていただいた感じでした。



昨年に続いての受け入れでしたが、少しでも景観サポーター養成の一助になればと思いました。
(森 英雄)

春日中学生・ボランティア体験

9月12日(木)、奈良市立春日中学校の2年生5人が、ならやまでボランティア体験活動に参加し、次のような感想文を寄せてくれました。



【山本君】

今回参加した「ならやま里山整備事業」は、あまり自然と触れ合うことのなかった僕にとって、とても新鮮な体験になりました。暑くて疲れたけれど、みんなで協力して作業することはとても楽しかったです。

【上野君】

すごく暑かったけれど、楽しかったし、結構いい経験になったと思います。会員の方が優しくしてくれて助かりました。野菜のお土産うれしかったです。

【木村君】

今日の体験は初めてで、とてもいい勉強になりました。またボランティアをしたいです。

【池上君】

今日は一緒に活動させてもらい、ありがとうございました。「自然」そして「自然を大切にする心」は、とても大事なものだということを今日学ぶことができました。ならやまでいい汗を流せたことに感謝しています。

【久穂君】

暑くて、虫も多くて腰も痛くなったけど、とても貴重な体験でした。自分でかぼちゃを見つけたときはとてもうれしかったです。半日と言う短い時間でしたが有り難うございました。今日学んだことを生かしていきたいです。